

# 巡回だより

## 四者面談ありがとうございました

前期前半の振り返りや四者面談などを通して、生徒たちから特別支援教室を利用してよかったことや以前より成長したと実感していることを話してくれました。

「前より他の人と関わることが上手になったと思う」

「自分の間違いや誰かの失敗に怒らなくなった」



「語彙力と説明力が高くなった気がする」

「中途半端でも切り替えてやめられるようになった」

「協力したり頭を使ったりすることができた」

四者面談では後期の指導の方針を、生徒・保護者・学級担任・特別支援教室担当で共有することができました。後期の指導で目標を達成できるよう指導してまいります。

指導改善や生徒の状態の把握のため、改めて、「連絡ファイル」の活用の仕方についてご説明いたします。引き続き、連絡ファイルを用いて情報共有のご協力をお願いいたします。

### 連絡ファイルの活用の仕方

連絡ノート			
月	日	曜日	時刻
○今日の活動の振り返り			
活動の内容			
活動後の感想			
(OOO〇〇-〇〇)より			
連絡事項 ※次回は 月 日( )です。			
※本日の配布物(あり・なし)			
担任の名前より		保護者の方より	

特別支援教室 担当より…

指導内容や生徒の様子・発言などを報告します。  
次回の日程や持ち物、配布物についてもご案内します。

↓ 指導(週1回)後、共有し渡す。

在籍学級 担任より…

学級や学校での生活の様子や取り組みを報告します。

↓ 手渡しで渡す。

↑ 担任または担当に手渡しする。

生徒… 連絡ファイルの受け渡しは提出物の練習になります!!

↓ ご家庭で保護者様に渡す。  
その際に指導の様子を聞き取っていただく。

↑ 次回指導(1週間程度)に間に合うよう、ご返却をお願いいたします。

保護者の方より…

確認後、是非、コメントの記入をお願いします。

## 小集団活動について

また、本号では、特別支援教室の指導の一つである「小集団活動」についてもご紹介します。

小集団活動とは、複数人の生徒・教員で一緒に活動に取り組むものです。生徒の状態や目標に合わせて、個別指導と小集団活動を組み合わせて指導しています。個別指導よりも期待できる効果があったり、実践的なソーシャルスキルトレーニングを学ぶ機会になったりします。

### 小集団活動の取り組み方の特徴

- ① 生徒・教員の2~6名程度で行う
- ② 時間は10分~40分程度と様々
- ③ 教材は教員の指定または生徒同士で話し合って決める
- ④ 取り組む目的を明確にする
- ⑤ 教員は生徒の支援に回ることもある
- ⑥ 生徒の課題が表出した場合は声かけや指導をする

### 小集団活動の主な学習

- ・相手に伝えるような説明
- ・会話のやりとり
- ・他者と協力すること
- ・状況やルールに応じること
- ・言動や声量の調整
- ・達成感、自己肯定感の獲得 など



さらに、小集団活動のねらいは「生徒や教材によってさまざま」です。

**A 共通するねらい**

- ・コミュニケーション能力の向上
- ・他者尊重、他者理解の精神の養成
- ・場や相手の状況に合わせる能力の育成
- ・達成感の獲得、自己肯定感の向上 など

**B 生徒それぞれのねらい**

- ・語彙力や説明力を鍛える
- ・勝ち負けにこだわらないようにする
- ・体や手先の動かし方を改善する
- ・自分の長所や短所を理解する など

➡ 多くの生徒の、それぞれの目標達成に、小集団活動は有効と考えられます

そして何より、どの教材も「ゲーム感覚」で気軽に取り組むことができるため、生徒たちが楽しみながら主体的に学習に取り組むことができます。そんな小集団活動で扱うゲームの中から、生徒たちと取り組む機会が多いゲームを、ねらいと合わせて紹介させていただきます。

ぜひ、ご家庭でも連絡ノートの内容と、お子様にどんな活動をしてどう感じたかを聞いてみてください。

<p>①『ブロックス』(マテルゲーム)</p> <p>2～4人でできるブロックを使って、自分の領域を広げていく交代制のゲーム。</p> <p>・論理的思考力 ・ルールを守る ・他者尊重 など</p> 	<p>②『カタカナシー』(幻冬舎)</p> <p>外来語を「カタカナ」を使わずに和語や漢語に変換して相手に伝えるゲーム。</p> <p>・語彙力 ・説明力、表現力 ・ルールを守る など</p> 
<p>③『ジェスチャーゲーム』(BEVERLY)</p> <p>お題を体の動きだけで相手に伝えるゲーム。動物などもあれば抽象概念もある。</p> <p>・表現力 ・語彙力 ・体の動かし方 ・ルールを守る など</p> 	<p>④『はあって言うゲーム』(幻冬舎)</p> <p>条件に合わせて、お題の感情や表現を工夫し、相手にどんな条件か伝えるゲーム。</p> <p>・表現力 ・場の状況 にに応じた言動の調整 ・他者理解 など</p> 
<p>⑤協力ジェンガ</p> <p>「指1本だけ」「声を発さずに」などの条件の中行う協力型のジェンガ。</p> <p>・説明力、表現力 ・他者尊重、理解 ・協調性 など</p> 	<p>⑥ポッチャ</p> <p>ボールを使った陸上のカーリングのようなパラリンピックスポーツ。</p> <p>・力加減、操作性 ・体の動かし方 ・先を見通す力 ・他者尊重</p> 
<p>⑦『テクラフト』(ジオゲーム)</p> <p>三～六角形のパーツを使って、お題の図形を言葉だけで相手に伝えるゲーム。</p> <p>・説明力、表現力 ・説明を聞く力 ・他者理解 など</p> 	<p>⑧『短所を長所に変えたいやき』(eyeup)</p> <p>短所を「リフレーミング」して長所に変換するゲーム。長所の面を使って自己分析に使うこともある。</p> <p>・語彙力 ・リフレーミング ・自己理解 など</p> 